

『大上地区社協』ニュース



■ No.96

■平成29年1月発行

■大上地区社会福祉協議会

■発行責任者 市ノ澤 寅夫

**あけましておめでとうございます
本年も大上地区社協をよろしくお願い致します。**

児童の登下校見守り会員への「ご苦労さん会」開催

綾北小、北の台小の校長・教頭も出席

大上地区社協は、会員が校区内の綾北小学校（2・3・4・9区が校区）の児童の登下校時、北の台小学校（1、5、6、7、8、10、11区が校区）が下校時の児童の見守り活動をそれぞれ毎日行なっていますが、2学期終業日の12月22日（木）の下校見守りが終わったあとの午後1時に大上会館へ集まって「ご苦労さん会」を行ないました。

当日は、市ノ澤会長、木村副会長以下見守り会員25名と綾北小学校の深谷校長、後藤教頭、北の台小学校の田中校長、町田教頭が特別に出席され、会員と昼食をとりながら意見交換すると共に親睦を深めていました。

両校長は、挨拶で「皆さんのお陰で今年も事故がなく、子ども達が安心して登下校できた事は大変ありがたく、子ども達も喜んでます。来年もよろしくお祈りします。」と話していました。また、見守りをしている会員からは「見守っていることで事故を防ぐ抑止力になっていたり、子ども達も喜んでることを思うと、やりがいを感じます。これからも次世代を担う子ども達のためにしっかり見守りを続けていきたい。」と話していました。

なお、都合がよい時に児童の下校見守り活動に参加して頂ける会員は、所属区の理事にご連絡下さい。



上から挨拶する市ノ澤会長、
深谷校長、田中校長

研修会で精神障がい者とのかかわりを勉強

大上地区社協は、綾瀬市福祉障がい課の精神保健福祉普及啓発事業と連携し、11月30日（水）の午前10時から軽食を含めて12時30分まで深谷大上ふれあいの家において精神障がい者と共に暮らす地域づくりについての研修会を開催しました。

当日は、市の障がい福祉課の保健師の西山仁美さんと長澤佳美さんを講師に招いて、大上地区社協の市ノ澤会長以下の理事13名と自治会の増田会長を始め会員や地域の皆さん17名の30名が出席。

講義は精神疾患の統合失調症（精神分裂病）と躁鬱（そううつ）病（双極性障害）について、病気の症状から治療、特徴、性格について

の説明。そして精神障がい者の地域での関わり方について3つの事例説明があった後に質疑応答が行なわれ、出席した皆さんは精神障がい者と共に生活しやすい地域づくりについて熱心に勉強していました。



市役所から講師を招いての研修会